

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（長浜地域）第2回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年9月30日（金） 14時30分～16時30分

場 所：湖北合同庁舎一階第一会議室

出席者：今井 克美 委員（公益社団法人長浜観光協会 専務理事）

鹿取 輝之 委員（公募委員）

小林 将来 委員（米原警察署 交通課長）

田邊 圭一 委員（長浜警察署 交通課長）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学環境科学部 准教授）

丹羽 崇 委員（公募委員）

長谷川 綱雄委員（米原市障害者福祉協会 会長）

水上 敏彦 委員（長浜商工会議所 交通運輸部会 副部会長）

三馬 有子 委員（公募委員）

森 和彦 委員（湖北地域消防本部 警防課長）

安田 智枝美委員（米原交通安全協会女性部 部長）

吉田 忠充 委員（米原市まち整備部 部長）

代理出席： 松宮 喜明（長浜市都市建設部 次長）

欠席者：横山 義人 委員（長浜市都市建設部 部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・座長が挨拶を行った。

（2）第1回地域ワーキングの討議内容の確認について

- ・事務局より第1回地域ワーキングの討議内容について説明を行った。

（3）資料説明「第2回地域ワーキング」

- ・事務局より第2回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見聴取

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

① 災害に強い道路網の整備／災害に強い道路整備

- ・ 湖北の特性として、大雪、特に湖北では昨冬にたくさんの雪が降っており、交通困難も起きている状況がある。湖北の特徴については前段で出していると思う。
- ・ 被災地へのアクセス確保が重要なので、雪による道路損傷などがないようにしてもらいたい。
- ・ 高架下の高さに余裕がないところが散見される。はしご車が通行しようと思うと 3.8m はギリギリなので、4 m は確保してもらいたい。虎姫の高架下は 3.5m 程度なので課題となっている。
- ・ 大雪のことも踏まえた、災害の安全確保のための道路整備が急務だと思う。
- ・ この地域では雪が課題。除雪した雪で通れなくなる道路が多々ある。また、雪で名神高速道路が通行止めになると国道 21 号も止まる。山東地域では大雪が降ると全道路が麻痺してしまうこともある。普段なら 10 分程度の距離が 2～3 時間かかることもあるので、この解消をしてもらいたい。
- ・ 災害は大雪を想定しているのか。大雨での土砂崩れや地震による道路崩壊などあるが、何の災害を指しているのか。
- ・ アナウンスや広報を上手くしていけば良いと思う。災害が発生した場合、現地に行くと現場が混乱しており、情報が不足していることが課題となっている。情報がないと動きようがない。1 時間で通れるようになるとか迂回路の情報など、SNS 等を活用してリアルタイムでの情報発信を上手く進めてもらいたい。
- ・ 豪雨には対応しきれないという話もあったが、豪雨対策にも触れてもらいたい。強靱化対策を進めて雨量規制がかからないような道路整備が必要だと思う。橋梁も長寿命化対策を進めているが不十分。通行止めにならない道路整備をお願いしたい。

② 安全・安心を確かにする道路空間の整備／安全・安心な道路空間の整備

- ・ 伊吹高校から長浜市に抜ける県道、通学路になっているが狭い路線もあるので検討いただきたい。
- ・ 一色から馬場の間で脇道がない。停滞した場合は救急車も待たされるような道路になっているので、解消する必要がある。
- ・ 旧山東地区に住んでいるが、最近グリーンベルトを整備されているが、狭い道路を通学しているため早急な歩道整備をお願いしたい。
- ・ 通学自転車の安全確保が急務だと思う。
- ・ 自転車や歩行者のことが主だと思うが、車いすや電動車いす利用者もいる。凸凹や歩道が狭い・無いことは困る。新しい道路は 3.5m 基準で作られているが、既存県道は歩道がないまたは狭い。歩道がない道路を通学路として利用しているところもある。大型車も多く通っており、非常に危険。
- ・ 通学路という話があったが、小学生児童の通学路に加えて中学生や高校生の自転車通学も

見据えた道路整備になると思う。自転車は原則車道通行であるが、歩道整備として現在 3.5 mの基準で自歩道となっている。自転車をどのように位置づけていくか、法律と安全安心との兼ね合いも考えつつ、道路整備をしていく必要がある。

- ・歩道整備は時間とお金が必要になるので、通学路指定されている県道は優先度を高く評価してもらいたい。

③ 地域の活性化を支える拠点間を結ぶ道路の整備／拠点間を結ぶ道路整備

- ・社会資本整備を進めるには一定の年月が必要、中長期的な視点をもって地域の特性を踏まえた、どういう地域づくりを行うかを展望した道路整備が必要である。
- ・地域特性を生かして、産業振興、地域活性化に取り組むことが大事だと思う。若者にとって魅力あるまちづくりが必要である。それを踏まえると、地域活性化等の内容を入れていただいているのは良いと思う。
- ・この重点項目だけ、目的が書かれていないので、ただ単に「拠点間を結ぶ」となっているのは気になる。
- ・集落を活性化するために道路を作っても、多くの観光客が来ると地域住民が困る現象も起きている。
- ・何をどう評価していくのかが見えてこない。何を目的に、何を目指しているのかが見えにくい。①・②・④と比べるとぼやけているように思う。

④ 観光を軸とし地域活力に繋げる道路の整備／観光を支援する道路整備

- ・地域特性を生かして、産業振興、地域活性化に取り組むことが大事だと思う。若者にとって魅力あるまちづくりが必要である。それを踏まえると、地域活性化等の内容を入れていただいているのは良いと思う。
- ・米原 I C から観光地へのアクセス道路整備を検討いただきたい。
- ・ローザンベリーに来るのにどこを通るのかという課題がある。そういった観光施設・集客施設を作る際には、観光客の経路なども踏まえて整備してもらいたい。

【その他について】

- ・地域の声は県道に限らず市道に対しても同じような意見と捉えているので、県と連携して市道事業を進めていきたい。
- ・現状を踏まえて、短期、中期、長期に分けて、計画的に進めてもらいたい。事業には時間がかかるので、10年経っても必ず必要となる道路整備を考えてもらいたい。
- ・アクションプログラム 2018 の事業化検討路線は 2023 では事業化されるのか。